

# 市議団ニュース

連絡先 2017年2月19日号  
杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058  
石田利春 52-7260 平間益美 23-9519  
【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】  
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

予算  
議会

## 市民の願いを最優先に！2月定例会が始まる

渡辺議員が代表質問  
2月26日（日）

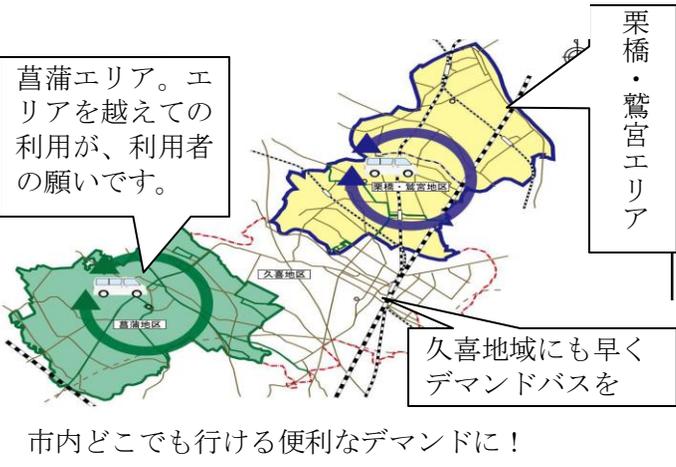
### 久喜地区にデマンドバス 導入に向けて実証実験へ



「くまの」号

田中市長は、2月議会の市政運営の所信表明で、デマンド交通の見直し案として、「市内の公共交通について、現在、久喜地区を中心とした市内循環バスの運行をはじめ、菖蒲地区、栗橋地区および鷲宮地区ではデマンド交通を運行し、市内全域にわたり公共交通網を構築し運行している。平成29年度は、久喜地区でデマンド交通の実証実験を1年間実施することを、地域公共交通会議に提案し協議していきたい」との表明がありました。

これまで旧久喜地域は、循環バスが運行していることから、デマンド交通エリアから外されており、見直しを求めています。利便性向上に向け一歩前進です。



### 中小企業・小規模企業の 振興基本条例案出される 実効性ある取り組みを

久喜市中小企業・小規模企業振興基本条例（案）が提案されました。

「市は、市民、事業者及び経済団体等と連携を図り、中小企業・小規模企業の振興を市政の重点課題と位置付け、振興に向けて基本理念を明らかにし、地域全体で共有し、地域社会の発展と市民生活を豊かにする施策として総合的に実施するため、この条例を制定する」とあります。

本条例は、昨年の6月議会において「久喜市中小企業・小規模企業振興基本条例検討委員会」が設置され、日本共産党は「市内中小企業・小規模企業が元気になるれば、雇用や消費が拡大し、地域経済は間違いなく活性化する。中小・小規模企業を地域ぐるみで応援し、励ます本条例制定に期待する」として賛成していました。

今議会で条例が制定され、設置が予定される「久喜市中小企業・小規模企業振興会議、第10条2にあるように、会議において審議される施策等に対し、市民、経済団体が協働し、そして中小、小規模業者と同じ目線で考え、効果のある政策の実現に向けて、行政が先頭に立って、本気で取り組む必要があります。

中小企業や商店が  
本当に元気を出せるよ  
うな支援が必要だ。



フランスの地方都市にはシャッター通りがないというが、なぜか。



### 八甫（はっぽう）清掃センターで 火災事故発生！粗大ごみ処 理機が4カ月停止に

1月31日午前11時50分頃、八甫清掃センターで火災事故が発生しました。場所は、粗大ごみ処理機の磁選機（磁力で金属とプラスチック等を分ける）付近です。消防によって1時間ほどで鎮火しましたが、その後、2月3日に消防の現場検証時にも、火災発生の原因は特定されませんでした。

原因の確定や、修繕（4カ月）の費用などは今後、委託先の荏原製作所と組合との協議にゆだねられます。

4ヶ月間、粗大ごみは、選別後、フレコンバックに入れて八甫センターで保管します。（修繕後に処分します）



八甫の粗大ごみ処理施設  
この施設で粗大ゴミを破砕、選別します。5時間で30トン进行处理します。大型家具などは、燃やすごみとして焼却炉で処分されます。

## 渡辺まさよ 3月2日(木) 4番目(午後)

### 1. 東京理科大跡地利用は市民の意見を参考にすべき

東京理科大跡地利用では、これまで市民の意見募集や、パブリックコメントを実施してきたが、計画に活かされてきたのか疑問だ。住民の声をもっと活かすべきだが。

- ① パブリックコメントの集計は
- ② 給食センター建設に対する意見は
- ③ 給食審議会が開かれていないが、わずか3ヶ月で答えを出す強引なやり方、「学校給食基本方針」もないがしろにしている問題があるのではないのか。
- ④ 給食に関わる、子ども達や保護者に直接知らせていないことについて。
- ⑤ 県道12号線の安全対策の進め方は。

### 2. 「ごみ処理施設整備基本構想」の進め方と考えについて

平成35年度に1本化し、共用開始となる予定のごみ処理施設の進め方等について伺う。

### 3. 国保税の広域化で市民負担増は許されない

平成30年度に国保会計は広域化(都道府県化)する。納付金という形になるが、対応とスケジュール、考え方について。

- ① 県への「納付金」、試算額は現在よりも高くなる。市としては、どう捉え算定するのか。又、今後のスケジュールは
- ② 市は、一般会計からの法定外繰入を減らし、剰余金を一般会計へ戻している。高すぎる国保税は引き下げるよう考え直すべきだが。

## 平間ますみ 3月2日(木) 3番目(午前)

### 1. 交差点信号機設置について

さいたま・栗橋線、北陽高校前交差点からアリオ鷲宮方面への交差点信号機設置について この場所は平成26年11月に死亡事故が起き、地元からも設置の要望が出ていた場所です。平成27年2月議会でも取り上げましたが、その後の進捗状況を質問します。

### 2. 花みずき会館の施設改善を求める

花みずき会館のトイレは和式と洋式が併設されていますが、和式トイレは高齢者の方から使い勝手の不便さが指摘され、洋式トイレへの改善が求められています。また会場の照明が電球が外されていて暗いとの声もあり改善を要求します。

### 3. 新入学児童生徒への支給は入学前に支給を

就学援助制度の運用について、小学校から中学校へ入学する児童、生徒に対し「新入学児童生徒学用品費」を入学前に支給すべきと提案して来ました。今、入学準備金の支給時期6~7月を前倒しする自治体が増加し、全国80市区町村で実施されています。多くの保護者たちの声、自分の家の経済状況を心配しながら新1年生になる児童・生徒を援助するためにも、入学前支給を実施すべきと考えます。

# 久喜市政の転換を！一般質問を通告しました

## 杉野おさむ 2月27日(月) 4番目(午後)

### 1. 各種災害による被災市民への支援策構築を

昨年末12月7日に、わし宮団地で火災が発生した。火元が5階のため、消火活動による放水で、階下の多くの世帯が「水浸し」となった。多くの世帯が、避難を余儀なくされている。災害による被災、避難、転居、その後の生活再建、と困難の中にある市民への支援策を講じるべきである。

### 2. エアコンがまだ未設置の教室には、早急に設置を

市民からの長年の要望が実り、昨年6月、すべての小中学校にエアコンが設置された。しかし、未設置の教室がまだあり授業が行なわれている。早急に設置を求める。

### 3. 久喜市の子どもたちにとって「望ましい給食のありかた」を探究すべき

保護者や、市民に合意が無いまま、全校分の給食をまかなう「給食センター」が造られようとしている。給食審議会に対しては、「センター方式ありき」の方針だけが示され、「自校方式の良いところ」はもちろん、そもそも検討の対象からも外されてしまっている。

すべての方式を公正・平等に示したうえで、広い視野での審議、検討を求めるのがスジではないか。「久喜市の子どもたちにとって、本当に望ましい給食とは何か」を主旨とした「諮問」に変更をすべきである。

### 4. UR団地を再生する政策立案を国、県と連携して

若者が住みたくなくなる団地、高齢者にやさしい団地に再生を。

## 石田としはる 2月28日(火) 2番目(午前)

1. 液状化対策事業 地下水位低下工法による工事が実施され、工事完了後モニタリングが実施される。調査項目やスケジュールは、久喜市の独自支援「被災者住宅支援事業」は地盤が落ち着くまで延長すべきと考えるが。

2. 水道料金の引き下げ 純利益が約9億円出ている。消費税増税や年金引き下げから、市民の暮らしは一層厳しさを増しており、市民の暮らしを支えるために水道料金の引き下げを実施すべきと考えるが。

3. デマンド交通の利便性向上を 交通弱者の足となることが求められている。現在のエリア見直しや、民間タクシーとの連携、高齢者の交通安全対策の一つ「免許証の早期返上」につなげる施策として、返上者は運賃をワンコイン100円にするなど利便性向上を検討すべきと考えるが。

4. 済生会栗橋病院 現地存続を 「済生会栗橋病院あり方検討委員会」では「急性期と安定期を分離すれば経営上リスクが高まり、患者にとっても問題」「旧栗橋町が誘致し地元のニーズもある」などの議論を積極的にすべき。

5. シャワーを利用可能に 栗橋地区「くりむ」に設置されているシャワーを「避難所」だけでなく普段から活用すべき。トレーニングルーム利用者から多数希望する声がある。

6. バリアフリー化を進めて 障がいのある方の歩行がスムーズになるように。南栗橋駅西口の階段下のバリアフリー化を進めてほしい。